

6 温泉利用施設立入検査

【水質環境科】

県下の温泉の実態を把握し、資源の枯渇、衰退現象を防止して資源の適正利用を図るため、平成元年11月から2年3月に236源泉の立入検査を行い、そのうち、211利用源泉について温度、湧出量、電気伝導

度、Cl⁻、硬度を測定した。その調査結果は次のとおりである。なお、残りの25源泉については、静水位を測定した。

温泉調査結果表

温泉地名	温度別利用源泉数			平均温度 (°C)	湧出量 (l/分)	電気伝導度 (μ S/cm)	Cl ⁻ (mg/l)	硬度 (mm/l)	主な泉質
	<25°C	25~42°C	42<°C						
岩井	0	3	2	46	1,180	1,700	160	5.9	カルシウム・ナトリウム硫酸塩泉
鳥取	0	5	13	45	680	3,900	800	3.0	ナトリウム塩化物硫酸塩泉
吉岡	0	2	3	46	1,100	590	83	0.5	単純泉
浜村	0	7	14	49	1,180	1,300	260	2.0	ナトリウム・カルシウム塩化物硫酸塩泉
鹿野	0	0	8	63	1,120	1,100	270	0.5	単純泉
羽合	0	1	6	55	1,540	2,200	600	2.6	ナトリウム・カルシウム塩化物硫酸塩泉
東郷	0	7	15	65	1,470	1,900	590	2.2	ナトリウム・カルシウム塩化物硫酸塩泉
三朝	1	26	53	49	1,950	1,300	290	0.7	単純放射能泉
関金	0	11	7	41	390	610	89	0.3	単純放射能泉
皆生	0	1	15	69	4,080	14,000	5,500	42	ナトリウム・カルシウム塩化物泉
その他	1	10	0	27	600	3,000	1,800	7.6	
計	2	73	136	56	15,250				

- (注) 1 泉温、電気伝導度、Cl⁻、硬度は平均値。
2 温度別利用源泉数は、現在の利用中のもの。